

# 競馬における「本命-大穴バイアス」は後半のレースほど大きくなるか

1220518 名手 悠記

指導教員 草川 孝夫

## 研究背景

「本命-大穴バイアス」とは、本命の馬券の回収率の方が、大穴の馬券の回収率よりも高いという、競馬における馬券購入行動で観察されるバイアスを指す。このバイアスは、どのようなレースでも観察されることが、先行研究で明らかになっている。しかしながら、どのようなレースほど、このバイアスが強く観察されるのかを示した研究は、これまでなされてこなかった。平均的には負けるギャンブルである競馬では、同じ日に実施される後半のレースほど、負けて少なくなった所持金を取り返そうとして、大穴馬券を購入する傾向があるかもしれない。その結果、後半のレースほど、「本命-大穴バイアス」が強くなるかもしれない。そのような傾向が実際に観察されるのかを検証できれば、人々の行動が非合理的になりやすい状況をの一つを、特定できることになる。

## 研究目的

本研究の目的は、「本命-大穴バイアス」が後のレースになるほど強くなるという仮説を立て、それを検証する。

## 研究方法

中央競馬のレースの結果を集計し、「本命-大穴バイアス」がレース順に依存するのかを、回帰分析により検証する。「本命-大穴バイアス」の指標としては、本命馬券からの実際の回収額を用いる。すなわち、本命馬券からの回収額を、「その日の何番目のレースか」に回帰した。

## 分析結果

回帰分析の結果、推定された係数は正であったが、統計的には有意ではなかった。レース順本命馬券の回収額は、後のレースになるほど高くなったが、統計的に有意な結果ではなかった。

## 結論

「本命-大穴バイアス」が、後のレースになるほど大きい値になることが示唆されたが、その推定結果は有意ではなかった。